



基本的なコード

では楽器を持って音を出していきましょう。
まずはコードの押さえ方からです。ギターとい

えばコードですよ。

ジャズのコードというと、テンションとかいろいろ難しいイメージがありそうですが、基本はスリー・コードなのでロックやポップスなどと同じです。スリー・コードがよく分からないという人も大丈夫です。取り敢えずコードを押さえて雰囲気味わってください。

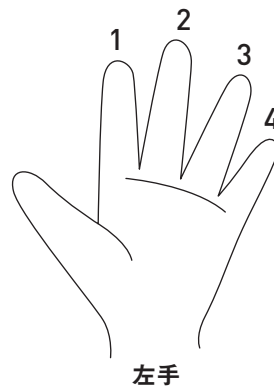
一般的なスリー・コードというとC、F、G

ですが、これからはCmaj7、Dm7、G7と憶えてください。FとDm7は全然違うコードに見えますが、名前が違うだけで中身は殆ど同じです。このことはのちほど詳しく解説します。

押さえ方は幾つかあるのですが、コードブックなどでもお馴染みなのがEx-1のフォームです。

Ex-1 一般的なコード・フォーム

5 弦 ル ー ト	Cmaj7	Dm7	G7
	3	5	3
6 弦 ル ー ト	Cmaj7	Dm7	G7
	8	10	10



これら一般的なコード・フォームももちろん憶えて欲しいのですが、僕がお勧めする形はもっと簡単で効果的なフォームです(Ex-2)。「こんな形見たことないよ」なんて言われそうですが、騙されたと思って試してみてください。省略形ですが大事な音は入っています。

なぜ省略形をお勧めするかというと、押さえ方が楽になるのと響きが軽くなるからです。コード単体で押さえやすいのはもちろんですが、コードを横に動かす際に断然有利ですので、今のうちに慣れておいてください。

適度に軽い響きでハーモニーの流れを作るの

が「目からウロコ流」のバックイングです。ホームラン・バッターではなく、しなやかなイチローというイメージです。動かし方は入門6の「バックイングしてみよう」で詳しく解説しますので、乞うご期待！